

なかま

プリンストン日本語学校

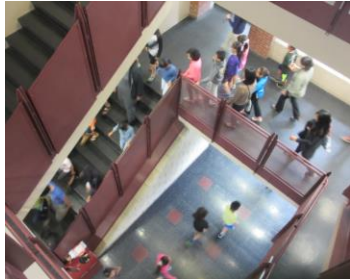
平成29年度 No.6

平成29年 5月7日

文責 荒川雄之 arakawa@pcjls.org



避難訓練



先週は、避難訓練を実施しました。借用校であるライダー大学のセキュリティの皆さんにもご協力をいただきました。数名のセキュリティの皆さんが避難行動を見守り、最後に避難訓練への講評をしていただきました。子どもたちは、

おさない

担任の指示に従って落ち着いて素早い避難行動が取れました。中庭への避難後、最初に点呼を終了し報告をしてくれたのは小学2年生。発報から、2分48秒後でした。発報後4分50秒までには、教育第一部二部の部長同士の最終確認

かけない

が終了。日本国内においても、5分程度を避難の時間として設定していますので、大変優秀な訓練であったといえます。幼稚部をはじめとする、保護者の皆様のご協力の御蔭でもあり、改めて皆様のご協力に感謝いたします。避難する人数

しゃべらない

が多くはなりますが、保護者の皆さんが校内に多く居てくれるということは、子どもたちの安全にとって、この上もなく心強い力となることを改めて感じました。大学のセキュリティからは、高い評価を

もどらない

いただきましたが、少人数の大学生を対象とする大学側マニュアルと400名以上が避難する本校のマニュアルとの相違もあり、相互に確認する良い機会ともなりました。先週の記事の再掲となりますが「今回の訓練は、避難経路の確認と、集団での避難行動を主な目的にしているため約束事として行動しますが、実際に緊急の避難行動が求められた際には、必ずしも整然とした避難が正解とは限りません。その際には避難する子どもたちへの目配り・ご支援を、よろしく願います。」

教室では・・・

◆中1の廊下には、プリンストン日本語学校中1判「のはらうた」が掲示してありました。「いし たろう」や「ろっくん」など、愉快的な作者による、愉快的詩が笑顔を誘います。



◆さて次は小4「白いぼうし」の一コマ。担任がなにやらインタビューをしています。子どもたちが登場人物になりきって、ロールプレーイング。当事者に



なって分かる気持ち。同級生の姿を見て読み取る気持ち。少し照れながら、楽しくも真剣な授業でした。

◆小5の廊下には、子どもたちが解いた算数の解法。解いていくための考えの手順を自分の言葉で示しています。十人十色、様々な解き方、説明の仕方がいいですね。併せて国語の「名前をつけてよ」折り紙の仔馬を基に、名前と根拠がそれぞれに描かれています。



◆小1は、黒板と電子黒板を使つての授業。視覚教材がたくさん用意され、具体物から勉強しています。時には担任の名画?も登場。何年たっても忘れられない歌もあるようです。

今週から授業参観が始まります。教室とご家庭が同じ方向を向いて子どもたちの学びを支えていけるよう、ご理解を深めていただければ幸いです。

授業参観予定(再掲)

	1時間目参観 2時間目懇談会	3時間目参観 4時間目懇談会
5月7日	小学部1年 小学部2年	中学部 小学部6年
5月14日	小学部3年 小学部4年 プリ小1 プリ小低学年① プリ中	小学部5年 プリ小低学年② +高学年①②

※懇談会の際の自習監督には、父母当番の皆さんのご協力もいただきます。よろしく願います。

【進学懇談会のお知らせ】

(自由参加、全6回、一回45分)
今年度、高等部主任の前田先生を中心に両教育部長参加の下、進学懇談会を開催します。年6回を予定していますが、第一回は、
6月18日(日)1:00~1:45
「日本の帰国卒受験のしくみ」(全学年保護者対象)と題して実施いたします。
以降の計画・詳細は、次号にてお知らせします。

